平成24年度石川県高等学校教育研究会情報部会研究会

授業実践例『「ビュートレーサー」を使った

アルゴリズム、フローチャート、プログラミングの学習』 大阪府立東百舌鳥高等学校 教諭 稲川 孝司 氏



2月14日(木)に、情報部会研究会が本校で行われました。今回講師として、開かれた学校づくりの推進、情報教育の推進に携わっている稲川先生を迎えました。

情報の授業の中で、特にアルゴリズムやプログラミングの指導を行うのは難しく、いかに生徒の心を惹きつけ興味を持たせることができるかが多くの教員の悩みでありました。今回使用したプログラミング学習用教材ロボット「ビュートレーサー」は、専用ソフトにおいてブロックを矢印でつなげることでこのロボットを動かすことができます。プログラミングの基本的な考え方を、こんなにも手軽に、かつ生徒に思考する力を身につけることができると実感できました。

来年度より新学習指導要領が全面実施されます。今年度の情報部会の活動が、情報に携わる先生方にとって少しでもプラスになればと願っております。